

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

大阪府 箕面市

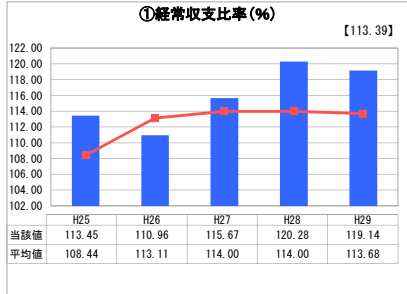
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A3	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)	
-	81.73	99.99	2,931	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
137,980	47.90	2,880.58
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
137,813	21.77	6,330.41

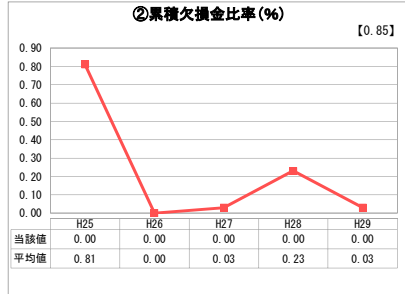
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

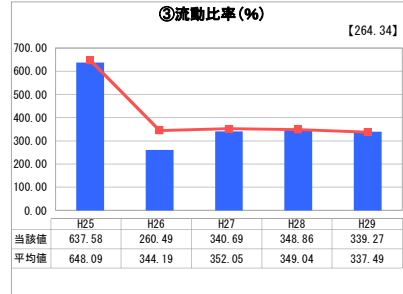
## 1. 経営の健全性・効率性



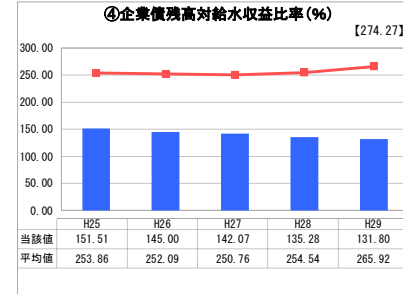
「経常損益」



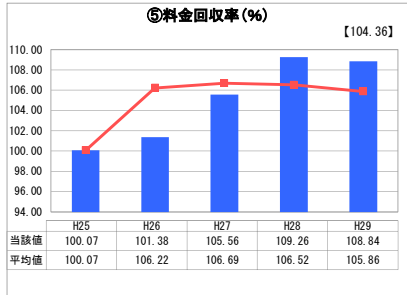
「累積欠損」



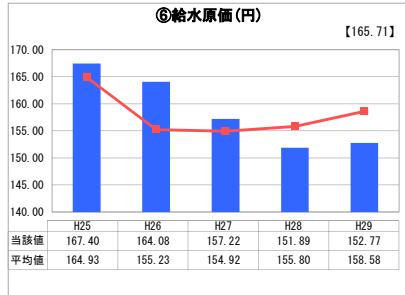
「支払能力」



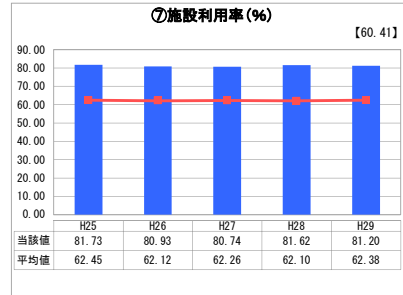
「債務残高」



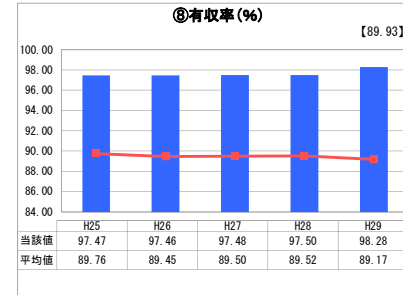
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

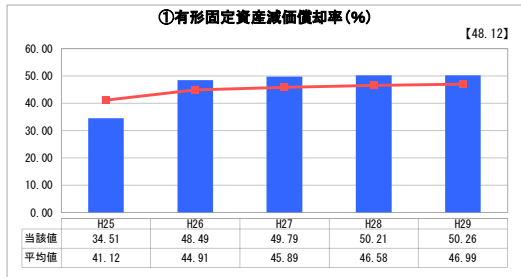


「施設の効率性」

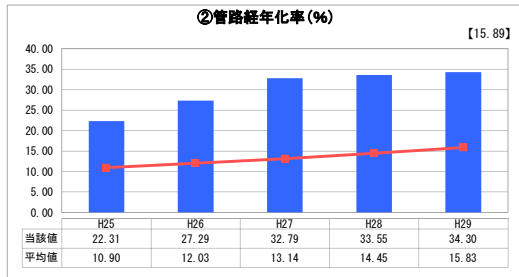


「供給した配水量の効率性」

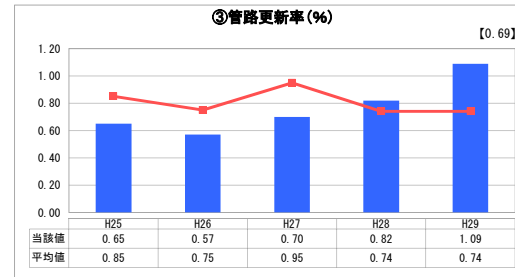
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①②⑤⑥平成29年度の経常収支比率は100%を超えているものの、施設・管路の更新に伴う減価償却費の増加等により、前年度に比べて減少しました。また、経常費用が増加したことに伴い給水原価も前年度に比べて増加し、料金回収率も前年度に比べて減少しましたが、いずれも類似団体平均値や全国平均値と比較すると良好な数値であり、経営の健全性は十分に保たれています。

なお、累積欠損金については、平成6年度以降発生していません。

③工事の竣工時期等による未払金の増減により、流動負債に年度間のばらつきが見られますが、平成29年度の流動比率は前年度より減少したものの、類似団体平均値を上回っており、短期債務に対する支払能力については確保できています。

④施設・管路の大量更新を控えていることから、各年度の企業債の借入額は償還額の範囲内にとどめ、債務残高の抑制に努めています。

⑦⑧全国平均値や類似団体平均値と比べて施設利用率が高く、有収率も高いことから、本市が所有する施設の効率的な稼働が収益につながっていると考えられます。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は増加傾向にあります。類似団体平均値とほぼ同水準で推移しています。

②類似団体平均値と比べて有形固定資産減価償却率より管路経年率が高くなっているのは、本市の管路が比較的早い時期に整備されたことを示していると考えられます。

③管路更新については、平成27年3月に策定した「箕面市上下水道施設整備基本・実施計画」において、厚生労働省の「実耐用年数に基づく更新基準年数の設定例」を参考に本市の更新基準を定め、同計画に基づき管路更新を計画的かつ効率的に進めています。

平成29年度の管路更新率は1%を超え、全国平均値や類似団体平均値を大きく上回る水準となり、管路・施設の更新に重点を置いた取組の成果が数値となって表れたものと考えています。

### 全体総括

水道施設や管路の老朽化に伴う大規模な更新時期を迎える中で、「箕面市上下水道施設整備基本・実施計画」に基づき、計画的に施設・管路の更新を実施していきます。

現状では健全経営を維持し、更新財源を確保するよう努めています。財源のうち企業債については、平成35年度以降、借入額が償還額を上回り、企業債残高が増加する見込みであることから、企業債以外で国の補助金や交付金等の確保に努めます。

なお、同計画に位置づける更新を全て実施したとしても、水道料金を値上げすることなく、黒字を維持できる見込みとなっていることから、平成30年度に実施する大阪広域水道企業団用水供給料金の値下げに伴い、本市水道料金についても値下げを実施します。

値下げ後も料金回収率100%以上を維持すべく、引き続き健全経営に努めていきます。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。